

RIME モデルは？ R ___ I ___ M ___ E ___ :計 100 点 :Reporter/Interpreter/Manager/Educator

急変:症状

① ショック

急変・・・のときに Vital sign を確認すると、血圧の低下、脈拍の上昇、意識レベルの低下などの _____ 状態に遭遇することがある。ショックの5兆候(5P)といわれるものがあり、それぞれ Pallor _____ ・Prostration _____ ・Perspiration _____ ・Pulselessness _____ ・Pulmonary deficiency _____ と表現される(が、覚える必要性はありません:要は Vital sign+見た目と触ることが大事です)。このうち、どれか1つでもあてはまるものがあれば「ショック」を疑うが、感染症によるショックの場合、末梢は【温かく・冷たく】なっていることがある。

厳密には「ショック」の定義としては、_____ の血圧と比べて〇〇mmHg の低下などがあるが、おかしいと感じたら、全身的に評価をするようにする。

※ ショックの分類についても興味/余裕があれば、覚えておくといい。

なお、「ショック」という言葉は、_____ には理解しがたい言葉であることも留意する。

② 意識障害

意識低下の患者さんを診た場合には、_____ のチェックに含めて _____ (左右差と縮腫)を診る。意識レベル低下の一因に _____ があり、糖尿病の罹患歴や内服の有無などをチェックしながら、デキスターチェックの準備、_____ の投与の指示が出る可能性を意識する。:前掲。

ただ、「いつもと何か違う・・・」ときには、肝疾患を持たれている場合には _____、呼吸器疾患を持たれている場合には低 _____ 血症や高 _____ 血症の存在も疑う。

※ 救急での意識障害の鑑別疾患の覚え方に「AIUEO TIPS」があるので、興味/余裕があれば、覚えておくといい。

③ 胸痛

胸痛の訴えがある場合、発症機転(Sudden: _____ or Acute: _____ or Subacute: _____ or Chronic: _____) をできたら確認する。体を動かしたときの疼痛は _____ 由来の可能性が高く、ある部位に _____ があればより可能性が高くなる。また咳嗽時や深吸気時の疼痛は上記 and/or _____ 由来の可能性が高い。

しかし、_____ の High Risk/既往がある場合や、_____ を伴う場合、他の場所の痛み(=放散痛: _____ や _____ :胸から半径 30cm ルールというのもある?)も訴えられる場合は、_____ の可能性を考え、医師をコールすることと _____ を取ってもらうとありがたい。

また整形外科手術後や長期臥床されていた方が突然の胸痛を訴えたとき(特に _____ 後)は、_____ の可能性を念頭において対応する。

④ 呼吸困難感

呼吸困難の程度を表す病歴として、「 _____ 時呼吸困難」・「 _____ 呼吸」・「 _____ 呼吸困難(就寝して _____ 時間後から呼吸困難)」・「 _____ 時呼吸困難」があり、この順番で悪い可能性がある。

なお、_____ の患者さんでは座位で呼吸困難が悪化する _____ という状態もある:前掲
入院中に起こるうっ血性心不全の原因で多いものに、_____ であることに留意する。

何かを投与したときに・・・

⑤ 何かを静脈内投与したときに、急変する可能性がある。

当院の医療安全管理に掲載されている急変対応には、【 A:抗菌薬など・B:造影剤など・C:血液製剤など 】がある。血液投与時の _____ に関する対応はマニュアルに記載があるが、これは重篤になる可能性が高く、輸血前の確認が本当に重要である。

⑥ アナフィラキシーが起こったときに行う処置は？

_____ を呼ぶ《急変時の共通項目》 → まず _____ を止める

【 観察項目 】

気道の確保:聴診で _____ や _____ がないか、確認 → _____ の有無、また消化器症状の _____ の有無も確認する:もちろん、_____ 測定も適宜行う

【 治療 】

_____ の筋肉注射を行う(準備) → 血圧維持のために _____ の補液を行う(ルートは?) → _____ や _____ はその後でもよい。

しかし、大事なことは予防・早期発見であり、_____ の確認や症状のリストを前もって伝えることが重要である。

処置後の急変

⑦ 各種の処置を行ったあとは、予想される範囲での急変がありうる

- CVC → _____ ・ _____ (呼吸困難) _____ (局所の問題)
- 胸腔ドレーン留置 → _____ (全身の問題)
_____ (呼吸困難) :初日に _____ が多いのはある程度、仕方がない
- 各種カテーテル → _____

※ 外科的な処置後についての言及がなくてすみません！

急変時全般として・・・

⑧ 急変時に、最初にすることは _____ を呼ぶことである。院内コールのかけ方は・・・

⑨ 急変時に、連携よく物品を集めるためには・・・

⑩ 急変時に医師にプレゼンテーションするコツは？

- まず相手の _____ をつかむ
- _____ を先に言う
- 使える Keyword をうまくまぜる: _____

⑪ 地味・・・かもしれませんが、_____ をすることは極めて重要である。手があいていれば、積極的に行い、可能であれば _____ も読みあげる。

⑫ _____ 対応を行うことも重要である。連絡だけでなく、来られたときの対応にも工夫が必要である。

⑬ 訪問した家族が「何かいつもと違う・・・」と言ったときは、【 いつも通りに対応 ・ いつも以上に注意 】する。

⑭ BLS や AED の使い方はわかりますか?:BLS 【 自信ある ・ 自信ない 】 AED 【 使える ・ 使えない 】

AED は購入したら終わり・・・ではなく、購入した時点で AED を使える部署の人に責任がかかることでもあり、使い方を理解する必要性があることに留意する。

お疲れ様でした！